

会長メッセージ



濱 逸夫
代表取締役 会長

ライオンは、創業以来130年の長きにわたり、暮らしを見つめ、より良い習慣づくりを通じて、人々のより良い毎日に貢献してまいりました。毎日の当たり前となった歯みがき習慣は、口腔内の健康だけでなく全身健康の維持にも大きく関わるということがわかっています。近年では新型コロナウイルス感染症拡大によって、改めて手洗い習慣の重要性も認識されています。また、深刻化する気候変動や海洋プラスチック問題等の社会課題に対しても、環境に優しい習慣づくりを通じて取り組んできました。多くの人が実践しているすすぎ1回の洗濯は、節水・節電につながり、洗剤等の詰め替え行動は、プラスチック使用量の削減とリサイクルにつながる大切な習慣です。今後は、日本だけでなく、海外でもこのような習慣づくりを拡大してまいります。

このように、当社は毎日の習慣が、人々の心と身体の健康の実現に加え、サステナブルな社会の実現にも大きな役割を果たすという考えのもと、「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する(ReDesign)」をパーパス(存在意義)に掲げています。そして、従業員一人ひとりがパーパスに共感し、主体的に行動するための判断や行動の拠り所として、新たにビリーフス(信念)を設定しました。ビリーフスに掲げた5つの考えは、ライオンが正しいと信じていることを表現しました。

当社は、お客様満足を最優先とする製品開発、サービスの提供、そして、習慣づくりを通じて社会課題の解決にアプローチするというユニークネスを最大限に発揮し、株主、お客様、お取引先、地域・社会、従業員等のすべてのステークホルダーからの期待に応えられる信頼性の高い企業となるべく、企業価値の一層の向上を目指してまいります。そしてこのような期待感と信頼性の高い企業であり続けるために、取締役会を中心として、多様なキャリアを持つ社外役員とのオープンな議論を活性化してコーポレート・ガバナンスの高度化を進めてまいります。

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する